

| 学年   | 教科等   | 単元名                       | 日時          |
|------|-------|---------------------------|-------------|
| 第3学年 | 外国語活動 | What's this? これなあに? (第4時) | 令和8年2月6日(金) |

## 1 本時の目標

自分の好きなものを伝え合う3ヒントクイズを行うために、相手が楽しめるようにヒントを工夫しながら、クイズを出したり答えたりする。

## 2 指導過程

| 学習活動及び学習内容 (★は評価にかかわるもの)   | 「自律的に学ぶ」ための手立て   |
|--|--|
| <p>1 本時の見通しとゴールイメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元ゴールと My Goal</li> <li>○ 本時のめあて</li> </ul> <p>相手が楽しめるようなクイズをつくるために、クイズのヒントを工夫しよう。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元ゴールや My Goal を確認する場を設けることで、どのようなクイズをつくりたいかという自分の思いに立ち返り、相手意識や目的意識をもって本時の活動に取り組むことができるようにする。</li> </ul>  |
| <p>2 教師が作成したクイズを基に、表現の工夫について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヒントの表現の工夫</li> </ul> <p>教師が作成したヒントの例</p> <p>Hello everyone. What's this?<br/>Hint 1. A long nose.<br/>Hint 2. It's an animal.<br/>Hint 3. It's big.</p> <p>答えがすぐに分かったよ。もっと難しいクイズをつくりたいね。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1番目のヒントで答えが分かるようなクイズを基に子どもとやり取りを行い、「答えを考えるのに悩んだか」と問うことで、ヒントの順番等を工夫する必要性に気付くことができるようにする。</li> </ul>  |
| <p>3 試しのやり取りを行い、表現の工夫を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふりかえり① (評価・助言⇒再構築)</li> <li>○ クイズの表現の工夫</li> <li>○ 全体での共有 (みんなでの話し合い)</li> </ul> <p>クイズの表現の工夫の例</p> <p>色・形・大きさ等の特徴を伝える、種類を伝える、ヒントの順番を変える、仲間に伝わる英語を使う、ジェスチャーで伝える 等</p> <p>ふりかえりの視点 (クイズのポイント)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体での共有の前に、ヒントの順番等を工夫している子どもを代表者として、全体でやり取りをする場を設けることで、代表の子どもの表現を基に、クイズのポイントを見いだすことができるようにする。</li> </ul>   |
| <p>4 仲間とやり取りを行い、表現を見つめ直す。(★)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふりかえり① (評価・助言⇒再構築)</li> <li>○ クイズのポイントを生かした表現の工夫</li> </ul> <p>クイズのやり取りの例</p> <p>2番目のヒントで種類を伝えてみよう。</p> <p>A: What's this?<br/>A: OK. Hint 1. It's white.<br/>A: Hint 2. It's an animal.<br/>A: Hint 3. Long ears.<br/>A: That's right!<br/>I like rabbits.<br/>It's your turn.</p> <p>B: Hint please.<br/>B: Umm...<br/>B: I don't know.<br/>B: I see. It's a rabbit.<br/>B: OK! (交代)</p> <p>答えが分かりやすいヒントを最後にしよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふりかえり①が滞っているペアには、クイズのポイントを示しながら助言することで、ヒントの順番や、仲間に伝わる既習の語句や表現等を意識して、表現を見つめ直すことができるようにする。</li> <li>○ 代表の子どものクイズを基に、再構築した表現をクイズのポイントと結び付けて価値付けることで、表現を見つめ直して工夫することのよさを実感することができるようにする。</li> </ul>         |
| <p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふりかえり② (記述) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の表現の変容とその要因</li> <li>・ 仲間のよかった表現</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クイズのヒントがどのように変わったかを問い、ふりかえる場を設けることで、前時に作成したメモと本時のメモを比較しながら自分の表現の変容に気付くことができるようにする。</li> <li>○ 表現が変容した要因として「仲間の助言」や「全体での共有」の選択肢を選んだ子どもを紹介し、表現を再構築したことを価値付けることで、仲間とともに表現を高め合うことのよさを実感できるようにする。</li> </ul> |

### 3 本時の評価規準

自分の好きなものを伝え合う3ヒントクイズを行うために、相手が楽しめるようにヒントを工夫しながら、クイズを出したり答えたりしている。  
(思考・判断・表現)【発言分析・記述分析】

### 4 板書等



○前時のヒントメモ

<ヒントメモ>  
・大きさ  
・色…黄黒  
・動物(しゅるい)  
・とくちゅう

○本時のヒントメモ

<ヒントメモ>  
①しゅるい  
②大きさ  
③色

【図1 ヒントメモの変容】

【自分の表現がかわった理由】

- ・アドバイス
- ・そうだん
- ・友だちのはんのう
- ・みんなでの話し合い

【どんなところがよくなった?】

みんなの話し合いで出たしゅるいを意図して使っていると、前よりはすぐにみんなを答えられていなかったから、本番も意図して使いたい。

【図2 終末の子どものふりかえり(記述)】

### 5 指導講評

宮崎県教育庁 義務教育課 岩崎 香恵 副主幹

- 中学年における表現の再構築は非常に難しいが、そこに挑戦した点が高く評価できる。クイズのヒントの順番を入れ替えたり、ジェスチャーを加えたりするなどの中学年の発達の段階に応じた工夫によって、子どもがクイズをもっと楽しくしようと試行錯誤する姿が見られた。
- ふりかえり②においては、前時のヒントのメモと本時のヒントのメモを比較させることで、自分のクイズの変容に気付くきっかけになっていた。
- 中学年の外国語活動において、聞く・話す活動をとおして、自分の伝えたいことを目的や場面、状況等に応じて伝えたり理解したりできるようにするためには、子どもが飽きないような言語活動の場面の設定を繰り返し行う工夫が必要である。

### 6 考察

#### 【研究内容1：仲間とともに表現を高め合うためのプロセスの在り方】

##### ① 自分や仲間の表現を見つめ直し、再構築へとつなげる言語活動後のふりかえり(ふりかえり①)

1回目の言語活動後に、ヒントで工夫したことや仲間のよかったところを問い、工夫したヒントとそのよさを全体で共有したことで、「種類」や「見た目」、「色や形」等、自分や仲間の表現を見つめ直すためのクイズのポイントを見いだすことができた。また、ふりかえり①において、全体で共有したクイズのポイントを生かしながら仲間と互いの表現について助言し合う姿が見られた。一方で、たくさんの仲間とクイズを出し合いたいという思いが先行し、相手の表現をしっかりと聞いたうえで評価や助言をするまでには至らない子どももいた。そのため、子どもが飽きずに取り組むことができ、相手の表現をしっかりと聞いたうえで評価や助言をしやすくなるような言語活動の場面の設定についても考えていく必要がある。

##### ② 自分の表現の高まりを自覚するふりかえり(ふりかえり②)

ふりかえり①の際に、前時のメモにヒントの内容や順番等の工夫を加筆したり、変容させたヒントの内容や順番等を新たにメモしたりするように促した。そして、ふりかえり②の際に、クイズのヒントがどのように変わったかを問うたことで、【図1】のような前時に作成したメモと本時のメモを比較しながらふりかえり、【図2】のように自分の表現の高まりを自覚している記述が見られた。今後は、表現を再構築させたことを価値付けるなど、さらに仲間とともに表現を高め合うことの良いことを実感できるような手立てについても考えていきたい。